

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
Java演習 I Java Programming Exercises I		情報メディア学科	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	林 孝哉	
概要				
Java 言語を用いて簡単な例題を行い、Java プログラミングの基礎について学ぶ。				
到達目標				
(1) オブジェクト指向の考え方や専門用語を説明できる。 (2) Java 言語で作成されたプログラムを読み、処理内容を説明できる。 (3) Java 言語を用いて基本的なプログラムを作成できる。				
授業内容とすすめ方				
1 プログラミングとは、Java プログラムの書き方、実行方法とエラーの対応 2 データ型と変数、演算子、制御構文 3 配列、多次元配列 4 メソッド、オーバーロード 5 複数のクラスを用いたプログラム 6 オブジェクト指向の基礎 7 インスタンスとクラス 8 クラスの定義とインスタンスの利用 9 さまざまなクラス機構 (1) : クラス型変数 10 さまざまなクラス機構 (2) : コンストラクタ 11 さまざまなクラス機構 (3) : 静的メンバ 12 カプセル化 (1) : カプセル化とは 13 カプセル化 (2) : getter と setter 14 継承 15 多態性				
テキストおよび 参考文献	テキスト：中山清喬、国本大悟、「スッキリわかる Java 入門 第2版」、インプレスジャパン、2014. (ISBN-13: 978-4844336389)			
メッセージ な	プログラミングの基本（データ型と変数、制御構文、配列、関数等）を理解していること。受講前に、プログラミングの基本をしっかりと復習しておくこと。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) オブジェクト指向の考え方や専門用語を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いが無く、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	オブジェクト指向の考え方や専門用語が説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	20%
(2) Java 言語で作成されたプログラムを読み、処理内容を説明できる。	ほぼ完璧に処理内容を説明できる。	大きな間違いが無く、基本的な処理内容を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の処理内容を説明できる。	処理内容が説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	20%
(3) Java 言語を用いて基本的なプログラムを作成できる。	ほぼ完璧にプログラムを作成できる。	大きな間違いが無く、基本的なプログラムを作成できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本プログラムを作成できる。	基本的なプログラムを作成できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力・表現力)	60%